

## 地球温暖化防止活動推進員の活動を支援しています

～2019年度 第1回全体研修会でSDGsの実践促進ワークショップ～

9月5日にホテルレイクビュー水戸において推進員全体研修会の第1回目を開催しました。2部構成で、第1部が、ワークショップ「SDGsの実践促進ワークショップ」、第2部が、「クールアースいばらき2019大会」【クールアースいばらきのお知らせページに掲載】で、推進員や行政担当者など102名の参加がありました。

「SDGsの実践促進ワークショップ」では、常日頃より大人から子どもまでの環境教育に携わり、SDGsを身近なものとして広める、公益財団法人 日本環境協会の大西亮真教育事業部長と東尚子同課長の両氏を講師としてお招きしました。

昨今、企業CSRや行政の取組としてSDGs (Sustainable Development Goals) という言葉が日々使われるようになりましたが、私たちはいったい何を目指していくべきなのか？どう動くべきなのか？との声をいただくことが多いのが現状です。そこで、講演では、こどもエコクラブ全国事務局担当でもあるお二人から、こどもエコクラブの魅力について紹介いただき、子どもたちの継続したエコ活動は既にSDGsを推進していることや、地域のエコ活動においては地球温暖化防止活動推進員が市民をサポートする役割が大きくなってきていることなどを解説していただきました。

ワークショップでは、初めに新聞の中からSDGsと関連する記事を探し、身近なSDGsを見つけていく作業から始まりました。その後、地球環境問題に関する世界の取り組みの年表から、SDGsの特徴、SDGsに対する日本の取り組みと世界的な評価を分かりやすく解説していただきました。

続いて、現在大きな問題となっているSDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に対するプログラムづくりを実施しました。気候変動については、昨年度、当センターが推進員研修を2回実施したこともあり、徐々に推進員のモチベーションがあがってきました。ふだん行っている活動と絡めながら同じグループの推進員と情報交換し、熱心にプログラムづくりに取り組んでいました。

最後のまとめとして、SDGsは、こどもエコクラブの掲げる理念と合致している目標も多くあり、環境学習を通して目標達成を目指していること、推進員の活動はSDGsを意識しなくても行われているので身構えないこと、などのアドバイスを頂きました。

参加者からは、「SDGsへの理解が深まった」、「SDGsの利活用の参考になって良かった」等の多くの声を頂きました。当研修には、地球温暖化防止全国ネットから高橋文彦氏、田原麻衣子氏も同席していただき、推進員のみなさまの活発な姿勢と協力しあう団結力が素晴らしいと、締めのお言葉をいただきました。

